

どこに旅行に行きたい？という話を職員室でしていました。教頭先生は、石川県という回答でした。

令和5年6月28日(水)

文責 木宮 崇子

有水中学校校長室より

礼法指導

ドミニコ学園高校の松永法子先生に来校していただき、3年生に【礼法】の授業をしていただきました。松永先生は、高校で礼法の授業を受け持っているとのこと。驚くほどの美しい背筋、にじみ出る優雅な立ち姿や所作。お話しの中に、「あなたに会えてとても嬉しい」という気持ちが大切、ということをお教えました。嬉しいという気持ちがなければ心のこもったあいさつができない。形だけでは相手に伝わらないのだ、と感じました。先生が教えてくださったあいさつのポイントは【①笑顔で②自分が先にあいさつを③相手の目を見てあいさつする④語先後礼】です。生活の中で実行している3年生を見るのが何度もあり、嬉しくなります。「何度も行うことで身につく。」とおっしゃっていました。まずは、学んだことを行動にうつすことが大切ですね。

かね 鉦おどり

有水鉦踊り保存会の代表の方々が来校されて、鉦踊りの踊り手の募集についての説明をして下さいました。コロナ禍で三年間活動なかったが、活動を再開したとのこと。どこの地域でも、伝承してきた芸能があります。大切な芸能を残していきたいという地域の願いと共に、保存会の方々は、鉦踊りに取り組む事で、どんなメリットが子どもたちにあるのだろうか、ということまで考えて下さっていました。地域を思い、子どもたちのことを思う保存会の方々の考え方に感銘を受けました。踊り手としてがんばってみませんか。

実カテスト・期末テスト

6月は、3年生は実カテスト、1、2年生は期末テストがありました。生徒たちは、テストに向けてどれだけ勉強していたのでしょうか。学習に取り組む力のない生徒を見ると、とても心配になります。課題を期日までに提出できない生徒を見ると、とても心配になります。学習に取り組むことは教科の力を伸ばすことだけではなく、判断したり、決断したり、想像したりという脳の働きの活性化につながります。(脳の筋トレとも言いますか。)テストの点数は取れないより取れる方がいいとは思いますが、「楽しいことを我慢して、学習に粘り強く取り組む力」こそが、たくましく生きていく上での必要な力であると考えます。生きる力は、何もせずに自然に身につくものではありません。生徒の周りにいる大人として、学びに向かう力を持つ生徒を共に育てていきましょう。

みんなの実行プラン その3

簡単なことでも、毎日続けることはなかなかできないものです。【習慣化】している行動を話してくれる生徒が何人かいます。私自身「名前を呼んであいさつする」という目標は簡単そうですが、意識しないとまだまだ身につけていないと感じているところです。

家に帰ったら水筒を真っ先に洗うことをしています。

とてもシンプルな取組だけど、毎日同じことを続けるのは簡単そうで簡単ではないよね。

早起きをしています。4時半です。学校へ行くまでは、読書をしています。

寝る前に10分読書をしています。

就寝前にスマホを見ている人はいませんか？就寝前の読書は、いい睡眠がとれるでしょうね。

こんなに早く目が覚めるなんて、すごい！
その上、朝の時間を有効に使っているね。